

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの気運醸成へ。 オランダ・淑徳大学と事前キャンプ協定書調印

岡 MIYOSHI オリンピアド推進課 ④432



8月24日(土)、三芳町役場でオランダ柔道連盟・淑徳大学・三芳町の3者でトレーニングキャンプにおける調印を実施しました。式では、オランダ柔道連盟会長のフェリクス・ティメ氏、淑徳大学副学長の山口光治氏と三芳町長 林伊佐雄の3者で「事前キャンプに関するオランダ柔道連盟・淑徳大学・三芳町との協定書」を締結。1年を切った東京オリンピック・パラリンピック、そしてオランダ柔道をまちぐるみでバックアップしていくことを確認しました。

■ 10月21日(月)記念切手販売



三芳町とオランダ王国のホストタウンを記念して、10月21日(月)からプレミアム切手を発売します。

販売地域
三芳町・富士見市内の郵便局など

販売金額
950円(税込み)

発行枚数
500部

月桂樹を植樹



オランダ王国・淑徳大学との協定とホストタウンを記念して、役場敷地内に月桂樹を植樹しました。オリンピックの優勝者に送る冠(月桂冠)としても有名な月桂樹。ぜひご覧ください。

↓ 100歳を迎えた久保田さん。祝状を手に、笑顔があふれます。



祝 100歳！長年の功労に感謝を 町長がお祝い訪問

敬老の日に先立ち、100歳を迎えた人を町長が訪問し、内閣総理大臣から贈呈された祝状と記念品を手渡しました。100歳を迎えた人の長寿を祝い、長年社会の発展に寄与したことを感謝し、高齢者福祉に関心と理解を深めることを目的に贈られている祝状と記念品。受け取った皆さんの表情は笑顔で満ちあふれ、嬉しそうに元気の秘訣などを語っていました。

↓ 藤久保第5区の皆さん。購入した紅白幕と櫓の前で集合写真。



宝くじの助成金でまちを元気に 令和元年度一般コミュニティ助成事業

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に、コミュニティ助成事業を実施しています。今年度は藤久保第5区が助成金を受け、祭り櫓、紅白幕、ポータブルガス発電機、ワイヤレスアンプ、折り畳みテーブルを購入しました。イベントなどに活用され、地域のつながりが一層深まります。

↓ 町職員の他、住民や町内事業所の人也大勢参加しました。



持 続可能な世界を考える 「みよしSDGs講演会」

8月21日(水)、三芳町総合体育館で国連大学サステイナビリティ高等研究所研究員のイヴォーン・ユー氏による「みよしSDGs講演会」が開催されました。SDGsとは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標のこと。三芳町の特徴を生かし、未来へ受け継ぐためのSDGsの取り組み方や、経済成長を追求しながらも環境を守り、誰一人取り残さないためにできること等を考えました。

↓ 今回で開催20回目を迎えた「民家で夜語り」。



夜 の古民家でおはなしを堪能 民家で夜語りin旧池上家住宅

9月14日(土)、心地よい秋風が通り抜ける夜の旧池上家住宅で「民家で夜語り」が行われ、町内外から70人を超える参加者が集まりました。お話しサークル「かにかにこそそ」による語りは、郷土のおはなしや妖怪、化け物のおはなしなど全8話。昼間とは違った雰囲気のある夜の古民家で、集まった人たちはおはなしの世界を堪能していました。